

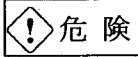
NITO プチスリム 取扱説明書(保存用)

このたびは、弊社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
ご使用前に必ずこの説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
(この説明書は、必ず保管しておいてください。)

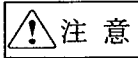
安全上のご注意

施工、使用(操作・保守・点検)の前に必ずこの取扱説明書とその他の注意書きをすべて熟読し、正しくご使用ください。機器の知識、安全の情報として注意事項のすべてについて習熟してからご使用ください。

この取扱説明書では、安全注意事項のランクを「危険」「注意」として区別してあります。



危険 : 取扱いを誤った場合に、危険な状況が起こりえて、死亡又は重傷を受ける可能性が想定される場合。



注意 : 取扱いを誤った場合に、危険な状況が起こりえて、中程度の障害や軽傷を受ける可能性が想定される場合、及び物的損害だけの発生が想定される場合。

なお、**注意**に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも重要な内容を記載していますので必ず守ってください。

1. 使用上の注意

危険

- 1) 端子部に触れないでください。感電のおそれがあります。
- 2) 2ヶ所の挿電部に絶対に触らないようにしてください。漏電遮断器は行きの電流と帰りの電流との差が規定以上になった時に動作する仕組みとなっており、感電時に動作しません。

注意

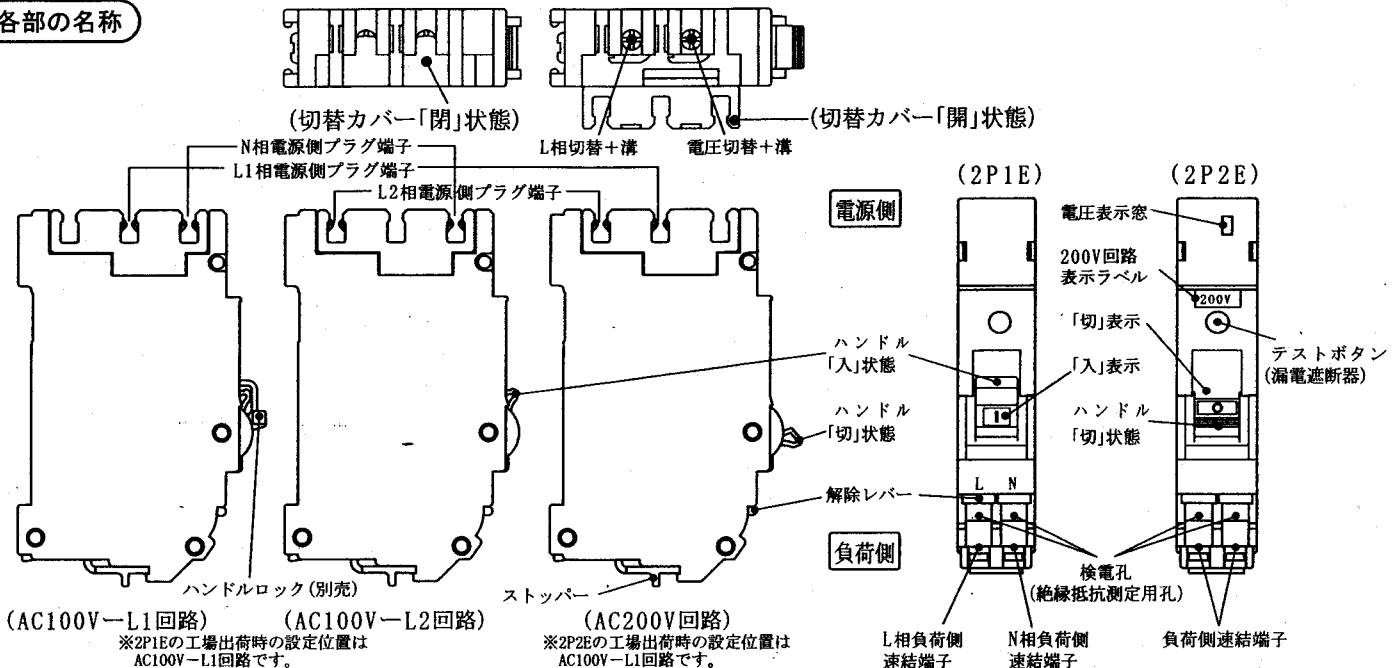
- 1) 電気機器のアース端子を必ず接地してください。(漏電遮断器)
- 2) 自動的に遮断した場合は、原因を取り除いてからハンドルを「I」にしてください。感電や火災のおそれがあります。
- 3) 月に1回程度テストボタンを押して動作の確認を行ってください。「O」にならない場合は故障です。電気工事店へ連絡してください。(漏電遮断器)
- 4) 保守・点検は、専門知識を有する人が上位遮断器を「O」にし、電気がきていないことを確認して行ってください。感電のおそれがあります。
- 5) 8.5倍を超える瞬時電流がある負荷には使用できません。(Hタイプ除く)

2. 施工上の注意

注意

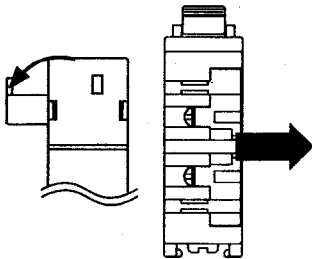
- 1) 電気工事は、有資格者(電気工事士)が行ってください。
- 2) 配線作業は、上位遮断器を「O」にし、電気がきていないことを確認して行ってください。感電のおそれがあります。
- 3) 本体の定格にあった電源に接続してください。不動作及び故障の原因となります。
- 4) 高温、多湿、じんあい、腐食性ガス、振動、衝撃などの異常環境に設置しないでください。感電、火災、動作しないおそれがあります。
- 5) ごみ、コンクリート粉、鉄粉、虫などの異物及び雨水等が遮断器内部に入らないように施工してください。火災・動作しないおそれがあります。
- 6) 電線接続の際、端子ねじを確実に締め付けてください。火災の原因となります。(30Aのみ)
標準締め付けトルク 1.5~2.5N・m (15~25kgf・cm)
- 7) 接続は電源側及び負荷側の指示通りに行ってください。
- 8) この遮断器は、弊社プチパネルおよびプチセーパへの取付け専用です。他社銅バーへ取付けた場合、火災の原因となります。
- 9) 電源側プラグ端子はバーへ確実に差し込んでください。差し込みが不十分な場合、火災の原因となります。
- 10) 電線の変形・腐食は火災の原因となります。電線をむき直してから接続してください。
- 11) 1つの連結端子に2本以上の電線を差し込まないでください。
- 12) 負荷側連結端子に接続する場合、橙色の接続完了表示が出るまで、電線を奥まで確実に差し込んでください。差し込みが不十分な場合、火災の原因となります。
- 13) 取付工事終了後、電源側及び負荷側端子間の電圧確認とテストボタンによる動作の確認を行ってください。(漏電遮断器)
- 14) 絶縁抵抗において充電部と大地間の測定はできません。(漏電遮断器)
- 15) AC100V回路専用の機種は、電線接続時にはL相とN相を正しく接続してください。
- 16) AC200Vで使用する場合は、電圧表示が赤色であることを確認してください。
- 17) 連続負荷を有する分岐回路の負荷容量は、その分岐回路を保護する過電流遮断器の定格電流の80%を超えないようにしてください。

各部の名称



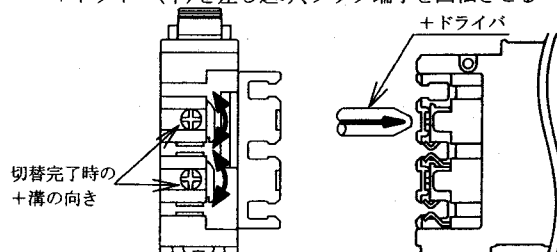
電圧およびL相の切り替え方法(電源側プラグ端子)

1. 切替カバーを開ける



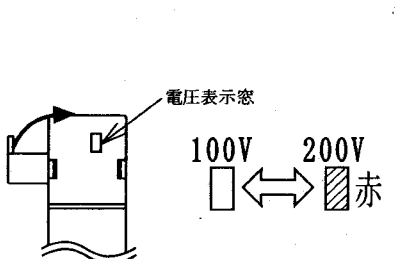
注意 切替カバーの中央にあるへこみを利用して開けてください。別の部位から開けますと指の損傷、切替カバーの外れのおそれがあります。

2. 電圧を切り替える場合は電圧切替+溝に、L相を切り替える場合はL相切替+溝に+ドライバ(中)を差し込み、プラグ端子を回転させる



注意 回転させる位置にもう一方のプラグ端子がないことを確認してください。無理に回転させた場合、破損するおそれがあります。

3. 切替完了後、切替カバーを閉める



注意 プラグ端子が完了位置にない状態で切替カバーを閉めると破損するおそれがあります。

本体の取り付け・プラグ端子の接続

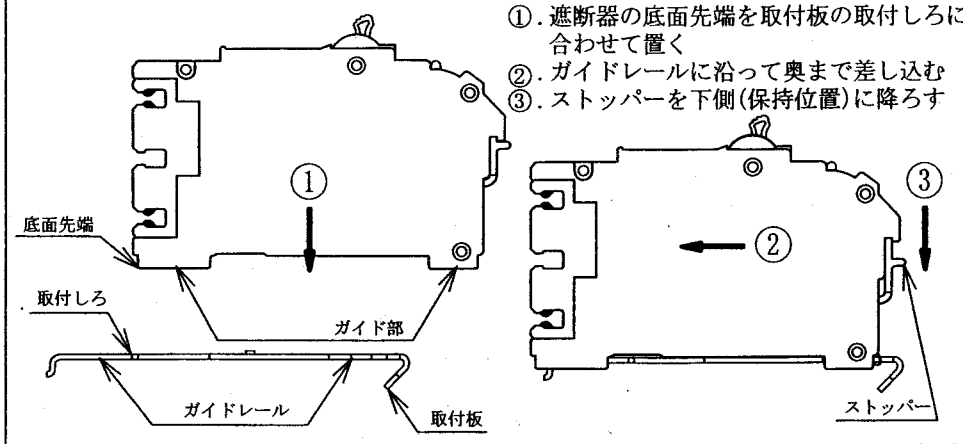
・プラグ端子の位置を確認してください。

100V回路で使用する場合は相のバランスを考慮してL相を切り替えてください。

200V回路で使用する場合は(各部の名称)に示す図を参考に「200V回路表示ラベル」を貼ってください。

〈注意〉分電盤に取り付けたままでの切り替えはできません。

〈取り付け〉



①. 遮断器の底面先端を取付板の取付しろに合わせて置く

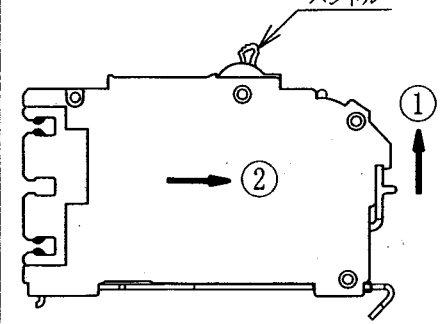
②. ガイドレールに沿って奥まで差し込む

③. ストッパーを下側(保持位置)に降ろす

〈取り外し〉

①. ストッパーを上側(取外し位置)に上げる

②. ハンドルに指を掛けて負荷側に水平に引く



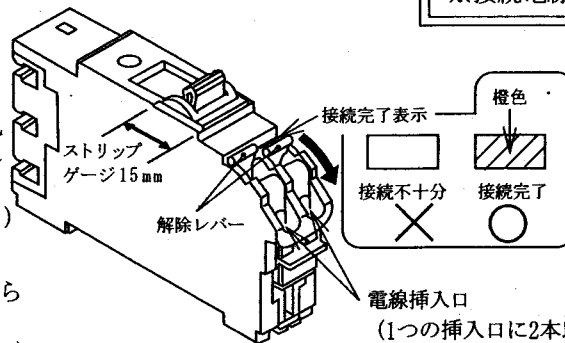
速結端子への接続

(15A・20Aのみ
(30Aはソルダーレス端子))

※接続電線: $\phi 1.6 \cdot \phi 2.0$ Cu(銅) 単線専用

〈電線を接続する場合〉

- 電線の被覆を本体のストリップゲージに合わせて15mmむいてください。
- 電線を電線挿入口に入れ、橙色の接続完了表示が出るまで差し込んでください。
(電線挿入角度は約15°です。)



(ヨリ線および $\phi 2.6$ 単線の場合は棒圧着端子を使用)

ヨリ線サイズ	適合棒圧着端子品番
1.25mm ² ・2.0mm ²	TC2-20 (棒圧着端子) VC2 (絶縁キャップ) (ニチフ製)
3.5mm ² ・5.5mm ²	シールドキャップ入り 棒圧着端子 NA8030R, S, T (日東工業製)
$\phi 2.6$ 単線	

(1つの挿入口に2本以上の電線を差し込まないでください)

〈電線を抜く場合〉

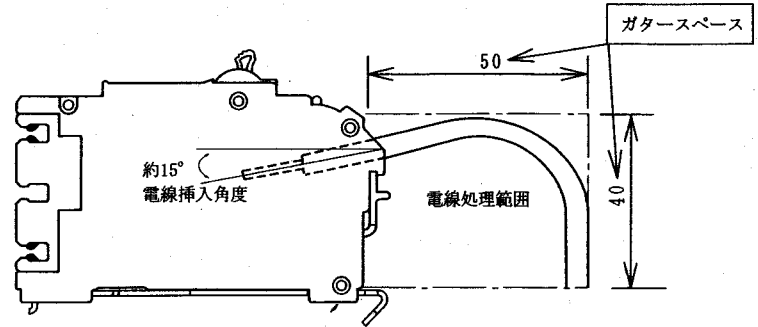
解除レバーを矢印方向に押しながら電線を引いて抜いてください。
(解除レバーの操作力は約7Nです。)

⚠注意

- 電線を差し込んでも橙色の接続完了表示が出ない場合は接続が不十分です。電線のむき長さ・変形を確認の上、接続し直してください。
- 電線の変形・腐食は火災の原因となります。電線をむき直してから接続してください。
- 電線の押し込み荷重が高すぎる(100N以上)と破損するおそれがあります。

⚠注意

接続電線は電線処理範囲内で配線してください。
(範囲外に出ますと電線被覆を傷つけ、感電・短絡のおそれがあります。)



動作

- 過電流や短絡事故が発生した場合、自動的にトリップし電路を遮断します。
- トリップした場合の動作表示
ハンドルがOFFの位置(ハンドル表示は○)に止まります。

〈注意〉

ハンドルの再投入(ON(ハンドル表示は■))後、即動作するときは負荷回路が短絡状態か、遮断器が異常です。
このような異常が生じた場合は電気工事店へ点検を依頼し、原因を取り除いた後ハンドルをONにしてください。

施行年月日

施工業者名

TEL.

仕様等、お断りなしに変更することがありますのでご了承ください。また、ご不明な点がございましたら弊社技術相談室にお問い合わせください。

NITO 日東工業株式会社

技術相談室 / 愛知県愛知郡長久手町蟹原2201番地

TEL. 0561(64)0152

(再生紙を併用しています)